

# あたらき大地



大阪木材工場団地協同組合

1988年

5月号

NO. 26

## 第2回木材団地サミットを開催（木栄会）

— 希望に満ちた21世紀 —



〈第2回木材団地サミット風景〉

去る3月23日、午後6時より、第1回（昨年11月18日開催）に引き続き、当団地内の発展を目的とする表記サミットが木材団地の内外より60名の参加者を集めウッドリーム大阪研修室で行われた。

このサミットは木栄会・情報交流委員会の企画によるもので、パネルディスカッション方式で行われ、今回のパネラーには中村暢秀〔S63 榊紅中・専務〕、和中禎造〔S63 榊丸正製材所・専務〕、山谷吉良〔

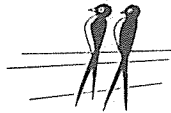
ヤマキインテリア〔榊〕・社長〕、浦本雅史〔浦本木材〔榊〕・社長〕、成瀬良彦〔成瀬特殊木材〔榊〕・社長〕の各氏で、木材業にたずさわるそれぞれ異なった業種のリーダー、コーディネーターに高島正一氏〔東部木材〔榊〕・社長〕を招き「21世紀への木材業界の展望——自社業界並びに木材団地の将来」をテーマに2時間半にわたって活発な意見が交された。

全体としては、技術革新、新しい商品の開発・研究、人材育成等々の工夫を重ねることにより木材業界の発展があるなど、13年後にやってくる21世紀への明るい希望的観測が述べられた。

以下パネラー5氏の講演を要約すると、

◇ 流通業の中村専務は、「これからの時代は人間を大事にした商品がどんどん出てくる。木もどりからくる本物志向が問われ、生活環境を良くした生活を楽しむ住宅空間を造り出す商品が必要になってくる。小売店、工務店と共同でよい商品を選択、提供し、社会に貢献していきたい。」

- ◇ 製材業の和中専務は、「多様化する商品ニーズをいち早くキャッチし、半製品から製品にするための木材規格の研究が重要である。木材業者は勉強不足であり、研究費の投資も少ない。木材業は21世紀に生き残れる業種であるから、もっと研究・勉強すべきだ。」
  - ◇ インテリア業の山谷社長は、「一般消費者の家具に対する考え方は高級志向になってきている。これから先21世紀には特に若い女性がイニシアティブを取る時代、このニーズに対応していけば見通しは明るいといえる。」
  - ◇ 納材・小売業の浦本社長は、「オイルショック以後、ゼネコンの競争から利益率が悪くなった。ゼネコンが材料持ちで施工するようになり、納材も加工したものの注文が多くなってきたが、その職人（大工）がいない。このようなことから生きのびるためには加工・施工など工事部門も手掛けなければならない。木材の生産性を高めるためには資金を使うべきである。」
  - ◇ 特殊木材の成瀬社長は、「46年から階段の研究に入り、52年ごろから『本物』というブランドで販売し初めた。階段も現在はベターリビングに合わせてゆるやかな角度になってきた。これから先、商品はJIS規格となり、乾燥材が主体となってくるであろう。含水率の低い資材を求める時代がくると思われる。」
- なお、このサミットの総まとめとして、第3回木材団地サミットを6月中に企画予定している。



## ＜ 理事会の議事録から ＞

### 1. ウッドリーム大阪の開所3周年記念講演会の開催について

今年6月にはウッドリーム大阪が開所して満3周年を迎えるが、これを記念して特別記念講演会を開催することになった。なお講師・演題等は目下のところ未定。

### 2. 木工工作施設の設置計画について

さきに木工工作施設の設置に関し、全組合員にアンケート調査を行ったところ、設置希望は多数あったが、組合の共同施設として運営面及び採算面の問題もあって今回は新規に施設を設けることはとりあえず見合わせ、代わりに目立工場跡の施設を改造して計画を進めることとなった。

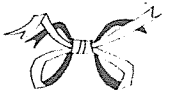
### 3. 高度補完事業のための組合転貸融資の担保物件に建物を対象とすることについて

現行の組合転貸融資にはその担保に土地のみを評価の対象としているが、今回行う高度化補完事業に係る転貸融資に限って、高度化の対象建物も担保価額に加算して認めることになった。

## 4. 副理事長の交替について

去る4月12日開催の理事会において磯口清、西野棟雄両副理事長が自社業務の多忙を理由に副理事長の職を退任（今後両氏とも理事として留任）することになり、代って現理事の笠井文雄（菊水㈱社長）、高島正一（東部木材㈱社長）の両氏が新しく副理事長に就任することが決まった。

## “ ウッドリーム大阪 ” だより



### ★ 「住まいと健康を考える」講演会開催

去る3月2日（水）、標記講演会が、(財)日本住宅・木材技術センターと共催、(社)大阪府木材連合会、(社)日本木造住宅産業協会近畿支部協賛で開催され、当組合員並びに関係諸氏42名が聴講した。

#### ○ 第1部 「居住環境と木の香り」

鐘紡美容研究所 島上和則氏

内容……植物から発散されるフィトンチッドというすがすがしい木の香りの正体と効用について、スライドを用いての講演。

#### ○ 第2部 「ダニの生態と居住環境」

埼玉県衛生研究所 高岡正敏氏

内容……最近、健康上問題になっているダニの生態及び、ダニの消長と木の香りとの関係についてスライドを用いての講演。



### ★ 木材知識講習会開催

去る3月12日（土）、標記講習会が、(社)大阪府木材連合会と共催で開催され、当組合員並びに建築関係者を中心に41名が聴講した。

#### ○ 第1部 「むくの建材」について

(株)森庵允晴商店 専務 森庵隆允氏

内容……むくの木に関する長所・短所について“目にやさしい光をはなつ”など、10項目の例をあげて説明。

#### ○ 第2部 「アメリカの防腐業界と日本の防腐業界の今後」について

越井木材工業㈱ 社長 越井健氏

内容……防腐された木材の生産量の推移を中心に、アメリカ及び日本の業界の今後についてビデオを用いての講習。

#### ○ 第3部 「今後の住宅政策」について

建設省住宅生産課 課長 城戸義雄氏

内容……62年は住宅業界は潤ったが、今年63年度の業界の動きはどのように展開していくか、又建設省がどのような政策を考えているかという住宅産業の動向と木材利用の展望について講演。

★ 林野庁次長が来館

去る3月18日開催の第33回日本木青連全国会員大阪大会に出席のため来阪された林野庁次長青木敏也氏が、大阪営林局長をはじめ関係者と共に3月19日(土)、『ウッドルーム大阪』を訪問された。

当日は、中川理事長の案内で館内を見学されたが、その内容や事業活動には大いに関心をもたれ、大変満足された様子であった。ウッドルーム南側緑化ゾーンにおいて、たまたま訪問された大阪府森林組合連合会々長古川光和氏を交えて記念植樹(いすの木)が行われ、その後トリスミ集成材(株)、木材乾燥工場を見学された。

★ 第3回木のふれあいツアー実施



〈第3回木のふれあいツアー〉

毎年実施して好評を得ているウッドルーム友の会の木のふれあいツアーを、今年“紀州路木のふれあいツアー”と題して、去る4月9日(土)・10日(日)に実施した。

龍神杉の集成材を使用した日本一と言われる木造体育館や大熊小学校体育館等、龍神村の木材施設の見学を通じて、木の良さを再認識すると共に、木への親近感をより一層深めた有意義なツアーであった。

【組合企業の紹介シリーズ】『うちの会社』

〔その26〕

東部木材(株) 社長 高島正一



昭和24年大阪市生野区にて創業、43年3月法人設立、60年6月木材団地に移転。法人設立と同時にラワン、ニャトー、メラピ、スプルース、ピーラ等を主製品として別挽専門工場に徹する。

仕事の内容は製材業、本来は挽材業と云うべきか、毎日毎日生木の鳴く声を聞いて25年になる。常夏の地に生れた南洋材、大陸の地に育った米材、どちらにもそれぞれの顔がある。温暖な気候の南洋材は性格は優しく厳しさに欠ける、厳しい大陸で育った米材は寒暖の中に生きる強さがある。それらの特徴を生かして需要先に供給している。100年以上の原木が主になるが、その生育期間には我々が想像する以上の歴史がある。

人間が生きる為にした戦争の玉キズあと、自然の力をはねかえしたヒズミ等々、毎日接する1本ずつの音がそれを物語る。お客様は神様、その歴史のキズを見てアレはダメ、これもダメと云う。どうしたら木の歴史(苦勞)をありのままに我々が表現しお客様に理解してもらえるか考えている。お化粧して美人に仕立て、嫁ぎ先を探さねばならない。製材担当者には、今日何が製材しなければならないのではなく、どのように価値ある製材をしたらよいかを教えている。

製材業界は斜陽の一途をたどっているけれど、自然の木の良さを表わすには加工だけでなく、製材の技術力が必要である。生き残るために製材+加工された商品づくりに力をそそぎたい。

団地入会3年生、組合員皆様の力強い経営力を目の前にし、当社も今から全力投球をします。皆様、よろしく御指導をお願い致します。



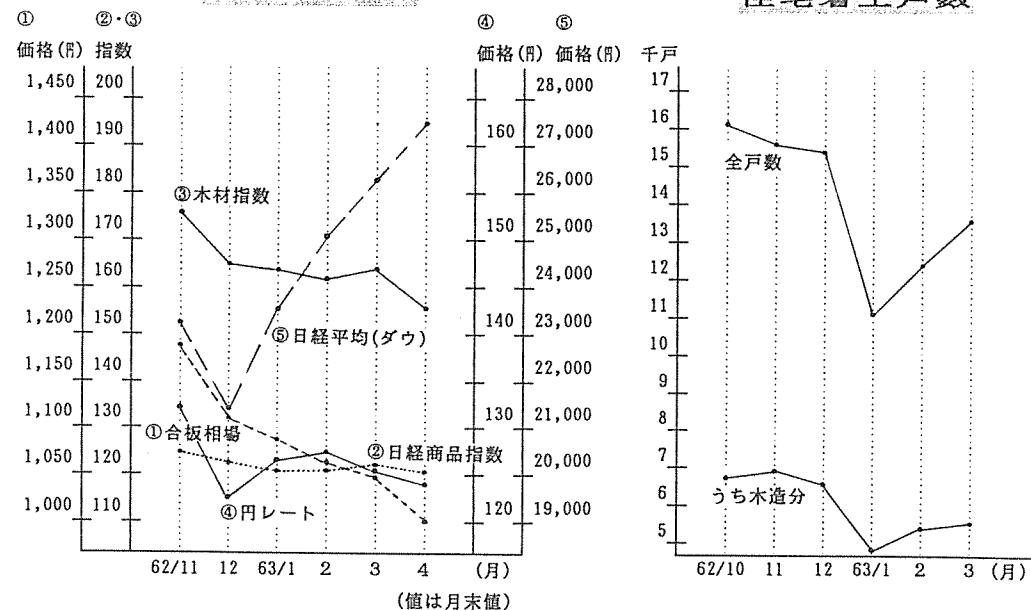
“木栄会だより”

★ 第11回団地内工場見学会を実施

去る2月24日、当会情報交流委員会企画による表記見学会が実施(参加者22名)され、今回も異業種交流の一環としてモリ工業株式会社を約1時間半に亘って見学した。

同社は昭和4年に設立され、同58年には東京・大阪証券取引所に1部上場されるほどの会社だけあって、そのすぐれた生産設備・省人化体制には目を見張るものが数々あり、工場内見学後の質疑応答では川上・川下作戦、サービス体制、原価率等々、活発な意見が交換され、参加者一同にとっては有意義かつ得るもの大きい見学会であった。

市況情報





## ★ 親睦ボーリング大会を開催

去る3月24日午後6時より、チヨダスタジアム（河内長野市千代田）において、47名の参加者を集めボーリング大会が開催された。

この大会は会員相互の親睦と体力増強を目的に当会親睦委員会が企画したもので、2ゲームを行いそのトータルスコアを競った。（女性に対するハンデ1ゲーム30点）

大会は終始なごやかな雰囲気のもとで行われ、ゲーム終了後表彰式があり、各賞が発表された。上位入賞者は次の通り。

- 1位 西野順子（南北木材㈱）      2位 松尾昭二（大平林業㈱）  
3位 二宮勝利（山田製材㈱）

なお、大好評であったこのボーリング大会は、第2回・第3回と企画を予定している。



## ★ 第5期通常総会を開催

去る4月19日、午後6時45分より45名の会員出席のもと、ウッドリーム大阪研修室において、第5期通常総会が開催された。

会則に基づき、62年度事業及び決算報告、63年度事業計画（案）・予算（案）・会費徴収（案）等を審議、それぞれ承認可決された。また「木栄会会旗」（組合事務局・花井総務課長の作品）・「木栄会の歌」（組合事務局・山本郁生氏の作詞、共立木材㈱・磯口営業部長の作曲編曲）の入選作品表彰も併せて行われた。

総会終了後、美人コンパニオンをまじえ盛大に懇親会が行われ、会員同志の親睦と友好をはかった。また途中で発表された「木栄会の歌」のその軽快なメロディーは、会員士気の鼓舞・「木栄会」のより一層の発展にとってふさわしい歌であった。



## “郵便局”だより

### ◎ 郵便貯金非課税制度改定の概要について

去る4月1日より郵便貯金非課税制度は、老人等に対する利子非課税制度に改定され、一般の郵便貯金については一律20%の分離課税が適用されることになりました。

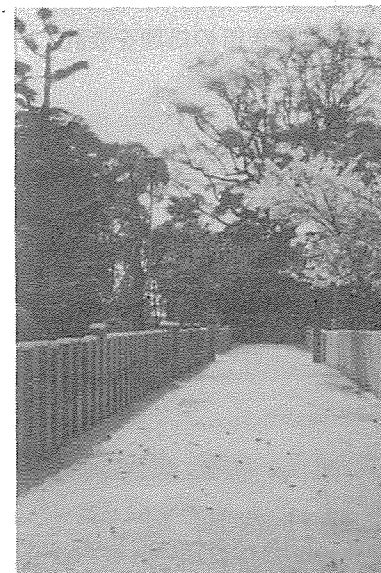
老人等に対する利子非課税制度とは65才以上の者、遺族基礎年金の受給者（妻に限る）、寡婦年金の受給者、身体障害者手帳の交付を受けている者等について、300万円（銀行などの預貯金とは別枠）まで非課税を継続するものです。

財形住宅定額貯金と財形年金定額貯金は合わせて500万円（財形年金定額貯金については350万円）まで非課税となり、一般の財形定額貯金は20%の一律課税となりました。

また、少額公債利子非課税制度も老人等に対する利子非課税制度に改定され、郵便局で販売する国債及び地方債にも適用（共通枠で300万円まで非課税）されることになりました。

## 地域あれこれ

(2)



＜丹比神社＞

前回で黒姫の名は「記紀」にないとしたが、それは我が黒姫の名がないということであって、「クロヒメ」の名そのものは、仁徳紀（吉備の黒日売）履中紀（葛城の黒比売）継体紀（坂田の黒比売）として出てくる。このうちで履中帝の黒比売が、あるいは美原の黒姫と関係があるのかも知れない。

履中は5世紀初の在位で黒姫塚築造といわれる同中頃とは多少ずれるが、いずれも推定であるから定期的に大差はなかろう。それよりも同帝が難波に滞在中、難にあって大和へ避難したとき通過した道が「丹比（たぢひ）の道」であり、その道を通る野原が「多治比野」であったということが、今度は丹比神社と関係してくるようで興味深い。

同神社は丹比連の祖神である火明命（ほあかりのみこと）、あるいは履中の弟である多遲比瑞齒別尊

（たぢひのみづはわけのみこと＝反正帝）をまつているという。いずれにしても丹比と名乗る豪族は、相当有力であったのであろう。

時代は大きく下るが、7世紀末には多治比嶋という一族の主長が左大臣に任ぜられている。柿本朝臣人麻呂はこの嶋の庇護を受けていたといい、人麻呂の死時、その意をくんで歌を詠んだのが丹比笠麻呂であったという。

また、群馬県吉井町に現存する「多胡の碑」という8世紀初に建てられた謎の石碑に、多治比真人の名が読みとれる。次は「平尾峠」を紹介する。（田中繁男 記）

## “環境整備すぐやる課”だより



### ◎ 「環境整備事業総会の開催」について

一昨年より実施された環境整備事業については、皆様方のご協力を得て着々と実績をあげていますが、今回恒例の事業報告を兼ねた総会を、去る4月21日（木）午後5時半よりウッドリーム大阪研修室において参画企業27社の出席のもとで開催された。

冒頭、豊岡環境整備委員長が挨拶した後議長を務め、62年度の事業及び収支実績を報告、続いて63年度の事業計画及び同事業予算（案）、それにブロック委員の選任などの議案が承認可決された。

特に今年度の新しい事業として、団地内企業が一斉に自社廻りを中心にした清掃作業を行うための『環境整備の日』を設定し、全社が環境整備に対する意識を高め、環境美化の実をあげることにについて全員の賛同が得られた。実施日は9月中旬を予定し、

具体策は事務局で進める事になった。

又、これから夏場にかけて、ジュース等の空き缶の処理については数量が大変多く苦慮している状況であるが、本総会においてもこの問題が提起され、今後ジュース等の自動販売機を設置している企業については、必ず業者に空き缶の処理を委託し、路上又は側溝に放置しないように各社に協力を求めることも決議された。

自動販売機を設置していない企業も、空き缶の処理については従業員の指導も含めて、自社で処理することが申し合わせ事項として提案された。審議終了後、簡単な立食パーティーを行い、出席者相互の懇親を深め無事総会を終了した。

### 『ちょっと一言』

大阪単板工業(株) 志村 治 恒



4月10日本州と四国を初めて結ぶ瀬戸大橋（本四連絡橋、児島一坂出ルート）が開通し、これより日本列島四島が橋やトンネルですべて陸続きになった。

橋と言えば、大阪は昔、八百八橋の橋があると言われるように、又“杭だおれ”とも言われるように、相当量の材木が使われたことだと思う。

最近ではレトロブームという復古調ばやりで、昔の文化が見直されてきている。昨年後半よりの景気回復も一部には、これらのブームが高級化指向と形で木材木製品業界に好転の要因にもなっていると思う。この好調さを持続させる為にも、木のあたたかさ、優雅さを誉めてPRすべきではないでしょうか。



### 『緑の少年団』だより

木材団地地区の小・中学生で組織している「美原町木材団地緑の少年団」では、第37回「緑の羽根募金運動」に参加して、4月17日・24日の両日、それぞれ南海高野線「金剛」駅前・近鉄長野線「富田林」駅前において街頭募金活動を行った。

今回出席者はやゝ少なかったが、こういう活動に参加することによって着実に緑に対する認識が自然と身についていくものと思われる。

昨年度の活動の結果、その還付金により「枝垂桜」を「ウッドリーム大阪」南庭西側に記念植樹した。現在新緑が美しく映えている。

また当団の活動が町当局にも意義あるものと認められ、62年度より補助金が給されることとなった。

## < 周辺の “味” 散歩 > . . . . . その2

### = 漫画喫茶 利信 =



漫画の好きな御仁には、たまらないのが、向陽台の漫画喫茶、『利信』さん。

何といたってもその数、単行本だけでざっと2,000冊というからものすごい。これでは客の回転率も悪くなるのでは？ と、こちらがよけいな心配をしてしまう程ですが、客層は学生よりも、殆どビジネスマンタイプの人で、その心配はなさそうです。

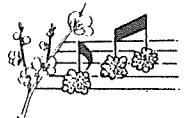
現に木材団地からの常連さんも多いというお話です。（何を隠そう、筆者もよく、エスケープさせて頂いております、ハイ……）

おひげの良く似合う、優しいクマさんのようなマスターのたてるコーヒーは、注文してから豆を挽き、ドリッパタイプの本格的なもの。御味の方もなかなかで、きっと豆も良いものを使われているのでしょう。

毎回の“ウッドフェア”を楽しみにされている、小柄でかわいい奥さんの、手作り日替り定食も、さすが家庭の味で、ゴキゲンでした。（この日はスキヤキ風弁当）

名物？ ヤキソバ定食とともに、せいぜい御利用下さい。最後に、お店の名前の由来ですが、マスターと奥さんの御名前からだとか……。すべて含めて、御馳走様でした。ハイ！！

- 店 名 利信
  - オープン 昭和59年9月
  - アドレス 富田林市向陽台5-4
  - キャパシティ 28席
  - 営業時間 AM 8時～PM 8時
  - 定休日 毎月 5・15・25日
  - コーヒー ￥300
  - モーニング ￥300（クロワッサン・玉子・プチサラダ）
  - ヤキソバ定食 ￥600
  - 日替定食 ￥800
- （磯口龍一郎・井上嘉織・記）



### 『日頃の心がまえ』

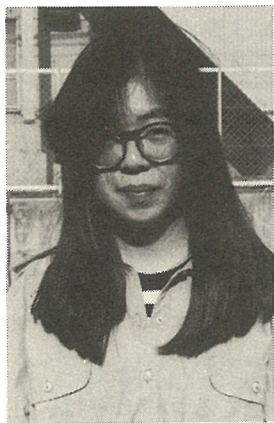
- (1) 気働きのできる人になれ。
- (2) 低レベルで満足していないか。
- (3) 実力の半分は会社に支えられている。





【団地ギャルの横顔】 ..... その2

（株）紅中 林田 かおり さん S 42.9.23生  
(天秤座)



最近、自動車の免許をとられ、休みの日には愛車（カーリーナ）でドライブに出かけるのが楽しみだそうで、会社では得意先、積水ハウスの関係の事務を担当されておられます。

趣味はレコード鑑賞（特にニューミュージック）で、スポーツは水泳とか。

好きな男性のタイプは、こまめに何でもできる人、俳優の柴田恭平が理想のタイプで、ちなみに結婚は25歳までにしたいそうです。「何故か？」との質問に、「クリスマスケーキになりたくないから……」（25を過ぎると売れ残る、安売りされる）

木材団地についての印象は、木製のバス停がとってもユニークと、かわいい笑顔で話しておられた。

次号（7月号）は、（株）福井木材商店の長尾祐美さんの横顔です。



【団地内のうごき】

◎ 中央通り及び南大通りの街路緑化を補植

昭和59年と60年に実施された主要街路の緑化が、その後植樹の枯損等が目立ってきたため、今回大阪府より工場緑化樹の配布を受け、このたび全面的に補植が行われた。

緑化は、植樹後の維持管理が重要で、団地内のメイン通りにふさわしい街路にするため、植樹に対して十分な配慮が要求されている。



◎ 木造3階建て住宅が竣工

既報（1988年新年号）の通り、昨年11月末に完成した団地内狼谷住宅の木造3階建て住宅の竣工式が、去る4月1日（金）午前11時より、現地見学会を兼ねて組合会館大会議室で施主・施工業者などの関係者を招き開催された。

中川理事長の建設に至るまでの説明があったあと、現地一柳邸の見学を行い、改めて木造3階建て住宅の目新しさとすばらしさに関係者一同、目を見張った。

見学終了後、再び組合会館にもどり、施主一柳氏より施工業者の（株）葵建装へ感謝状の贈呈などセレモニーを行い散会した。

この竣工式により、3年にわたる委員会の活動は一応終了したが、木造3階建て住宅簡易構造設計基準の一部改定にまでこぎつけた実績は高く評価され、今後土地価格の上昇につれ木造3階建て住宅の建設がますます普及していくものと考えられる。

【事務局だより】

◇ ゲストハウス“やすら木”のアンケート調査結果について

先般実施した標記アンケート調査の結果がまとめられたが、それによると“やすら木”の利用状況は、月1～2回程度が大半で、組合員関係者の利用が意外に少ないことが判明した。

間伐材の利用促進モデルとして設置されたこの“やすら木”は、組合員や従業員のための福利厚生施設としての憩いの場であり、今後、各社の接待客利用のほか、皆様のやすらぎの場として、せいぜいご利用いただきたいと思います。

そのため今後できるだけ利用しやすいようにチケットの料金を2割引き（3,000円チケットを2,400円に、そして1,500円チケットを新設してこれを1,200円）にすることになりました。

なお、参考までに調査結果は次のとおりとなっています。

記



ゲストハウス“やすら木”アンケート調査結果

(回答数 63)

1. 施設の利用について

- イ. 利用している 90.5% (57/63)
  - 一. 月1～2回程度 50.9% (29/57)
  - 二. 月2～3回程度 22.8% (13/57)
  - 三. 月1回未満 12.3% (7/57)
  - 四. 月4～5回程度 5.3% (3/57)
  - 五. 月5回以上 3.4% (2/57)
  - 六. その他 5.3% (3/57)

ロ. 利用していない 9.5% (6/63)

- 一. 施設の存在を知らない 0.0%
- 二. 利用する機会がない 83.3% (5/6)
- 三. その他 16.7% (1/6)

2. メニューの種類について

- イ. 充分満足している 7.9% (5/63)
- ロ. 概ね満足している 36.5% (23/63)
- ハ. やや不満である 38.1% (24/63)
- ニ. 極めて不満である 11.1% (7/63)
- ホ. その他 6.4% (4/63)

3. 味について
- イ. 充分満足している 9.5% ( 6/63 )
  - ロ. 概ね満足している 61.9% ( 39/63 )
  - ハ. やや不満である 17.5% ( 11/63 )
  - ニ. 極めて不満である 6.3% ( 4/63 )
  - ホ. その他 4.8% ( 3/63 )

4. 値段について
- イ. 高い 60.3% ( 38/63 )
  - ロ. 普通 30.2% ( 19/63 )
  - ハ. 安い 1.6% ( 1/63 )
  - ニ. その他 7.9% ( 5/63 )

5. 組合員従業員に対する割引チケットについて
- イ. 知っている 69.8% ( 44/63 )
    - 一. 利用している 43.2% ( 19/44 )
    - 二. 利用していない 43.2% ( 19/44 )
    - 三. その他 13.6% ( 6/44 )
  - ロ. 知らない 28.6% ( 18/63 )
    - ニ. その他 1.6% ( 1/63 )

6. 建物の雰囲気について
- イ. 良い 77.8% ( 49/63 )
  - ロ. 普通 17.5% ( 11/63 )
  - ハ. 悪い 0.0%
  - ニ. その他 4.7% ( 3/63 )

7. 従業員の対応について
- イ. 非常に良い 14.3% ( 9/63 )
  - ロ. 概ね良い 61.9% ( 39/63 )
  - ハ. やや悪い 12.7% ( 8/63 )
  - ニ. 極めて悪い 4.8% ( 3/63 )
  - ホ. その他 6.3% ( 4/63 )



◇ 改正労働基準法の説明会を開催

昨年7月に大阪労働基準局が主管して、当団地組合員を対象に実施した、労働時間等実態調査アンケートの結果報告会を兼ね、このたび(4月1日より)改正された労働基準法の説明会を、去る3月29日(火)、午後3時からウッドルーム研修室で行った。主催は大阪労働基準局監督課で、組合員企業担当者32名の出席があった。

その説明会では、所定労働時間、主な週休制の形態、年次有給休暇等、休暇日数についてその実態が詳しく報告され、中でも週休2日制を導入している企業は、全回答社数40社の内18社と47%に上っており、過去に比べて週休2日制の導入を前向きに取り組んでいる傾向が窺れた。

今後も今回改正の法定労働時間の短縮法案の週40時間制の実施に合わせ、週休2日制の導入が促進されるものと考えられる。なお参考までに、その実態調査の内容の一部を紹介いたします。



記  
労働時間等実態調査結果(抜粋)

昭和62年7月実施  
大阪労働基準監督課

調査対象事業所：大阪木材工場団地(協)組合員企業49社内  
回答社数：40社

第6表 主な週休制の形態別事業所数

形態	週休2日制							不明	
	週休1日制	週休1.5日制	完全2日制	月3回隔週	月2回隔週	月1回隔週	計		
企業数	18	2	1	0	2	7	8	18	2
割合%	47.4	5.3	2.6	0	5.3	18.4	21.1	47.4	5.3

第10表の3 労働時間短縮の考え方、その方法(複数回答)

労働時間短縮の考え方	1日の所定労働時間の短縮	週休日の増加	週休日以外の日の増加	年次有給休暇の消化促進	所定外労働時間の短縮	その他	計
現在検討中企業数	1	6	0	1	1	1	10
検討したい企業数	2	11	2	3	5	0	23
疑しい企業数	2	1	5	4	2	2	15

企業を守る損害保険のことなら  
(株)大阪木材団地サービスへ

各種 火災・傷害保険を取り扱っております。

南河内郡美原町木材通四丁目1番1号

大阪木材工場団地協同組合内 tel 0723-61-2670~1

## ◇ 教育ビデオの利用について

既にご案内のとおり、高度情報化社会に向けて情報資料室に下記教育ビデオ7巻を設置しましたが、利用がまだまだ少ないのが現状です。

「頑張れ新入社員シリーズ」“確かな仕事をするために”を視聴された組合員の幹部の方が、「研修の専門家がなくても、効果的・効率的に新入社員の教育・研修を行うことができ、また、新入社員だけでなく我々管理職の者が見ても大変参考になることが多かったので、是非視聴されるようお勧めしたい。」との意見がありました。

新入社員の教育や、中堅社員、管理職の研修用教材としてご利用いただきますようご案内いたします。（詳細については組合事務局までご照会下さい。）

記

### 1. 頑張れ新入社員シリーズ

（確かな仕事をするために—命令のうけ方・報告の仕方）

### 2. 管理者ベーシックシリーズ（全3巻）

### 3. 営業マン教育シリーズ（失敗しない営業取引（全2巻））

### 4. 経理知識シリーズ

（貸借対照表と損益計算書の読み方—経営を見る眼はこうして養え—）

## 〔新刊書紹介〕

### 1. 組合新規購入図書

#### ◇ 集録建築法規—大阪府版（上・下）

建設省住宅局建築指導課・大阪府建築部建築指導課 編集 新日本法規

大阪府下で施工される「建築基準・都市及び土地利用・住宅の建設及び供給・資格及び営業関係の条例・規則及び告示等を集録」した実務参考書。

#### ◇ セミナー健康住居学

高野健人・前田博・長田泰公 編著 清文社

昭和59年から昭和62年に至る「住生活と健康」をテーマとして、専門家による講演の内容をもとに、健康住居とは何かを科学的に追求した書。

#### ◇ 木材乾燥の実際

西尾 茂 著 日刊木材新聞社

天然の木材を人工で乾燥することは簡単に見えて非常に難しいのが実態である。この難解な木材乾燥の技術を現場の乾燥従事者に分かりやすく、平易に例題をあげて説明し、指導した書。

#### ◇ 木材の科学・基礎講座

藤田 稔・則本 京・高橋旨象・佐々木 光・西本孝一 著 日刊木材新聞社

木材業界の人達が、「木材のプロ」として、自分達の扱っている木材の科学的基礎知識を身につける為、木材研究の各分野で活躍中の一流の人たちが、特別に解説した書。

## ◇ 大型木造建築物の構造設計

日本木材青壮年団体連合会・木材産業振興基金特別委員会 編集・発行

大規模木造建築物のデザイン、あるいはその構造計算ができる設計者が少なくなってしまう環境の中で、その構造設計に最少限度必要とされる資料を整え、設計者の便に供しようとした書。

## ◇ 中国の森林資源と林業

野村 勇 訳・監修 農村文化社

中国の林業や林産業の動向に何かと関心が集まっているが、巨大な国だけに参考とする資料、文献に乏しく関係者を泣かせている。そんな中国の林業を概観する格好の書。

### 2. 組合員推薦図書

#### ◇ モスクワよ、さらば

熊谷 独 著 小学館 1,200円

ソ連貿易にたずさわってきた著者の恐るべき実態の告白。

#### ◇ 醜い中国人

柏 楊 著 光文社 730円

中国共産党、中国型民主主義等をやゆし、大陸で発売禁止の書。

#### ◇ 耕す文化の時代

木村尚三郎著 ダイヤモンド社 1,200円

#### ◇ 木材流通とは、国産材時代への戦略

中川藤一 著 日本林業調査会 1,800円

とにかく判り易く説得力がある。読まぬは一生の損とは大げさだが必見の書。

#### ◇ 木造設計施工のQ & A

日本住宅、木材技術センター 編 丸善 2,800円

#### ◇ 新365日デートガイド、関西編

藤原ヒロユキ 著 (株)ノラブックス 900円

歓楽街、食べ物、陶器、史跡等の地図、値段入り解説。（推薦・椎 繁弘）

#### ◇ その会議ちょっと待って下さい

岸 恒男 著 同文館出版(株) 1,200円

人間が集まれば意志の疎通を図る為に会議、会議。だがその会議たるやマンネリ化し、決して効率的に行われていない。会議の時間や経費を節約し、中身の濃い討議をする為にはどうすれば良いかを解説している。

#### ◇ 窓をあけたらキミがいる——ミニサンクチュアリ入門——

(株)日本野鳥の会 980円

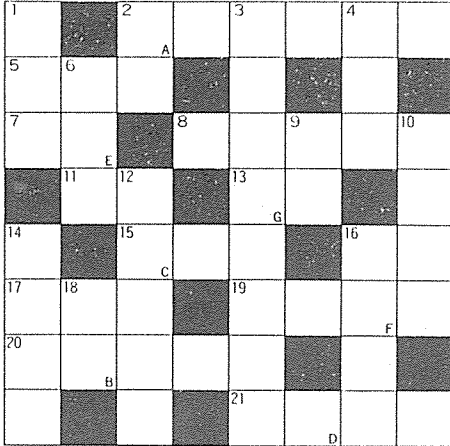
「ミニサンクチュアリ」は単なる自然や野鳥の鑑賞者ではなく、自分から「つくる」意志を持っている人達へのメッセージである。都市に土と緑の感触を呼びもどし、鳥との触れ合いの場を作る術が書かれている。（推薦・橋本健介）



## ◆ クロスワードパズル No. 2.

(解き方) 各マスにカタカナを一文字ずつ入れてください。最後にアルファベットのあるマスの7文字をABC順につなぐと、答えができます。

(ヒント) 高度先端技術都市です。



### ヨコのカギ

- ① 鏡線反射ガラス。これを使うとビル全体に肉眼的風景が反射して見えます。
- ② 舌で感じる感覚。
- ③ 突然行かないで、一瞬一瞬を捉ってから行くべきだよ。
- ④ 会社名、新製品などであれこれ考えます。
- ⑤ 英スコットランド北部にある湖は、小さいくせに世界的に有名。
- ⑥ ハーブ・アルバートのトランプが明るく軽快に奏でる「マル夕盛の」
- ⑦ あいにく、ガ不具合でね。
- ⑧ ハワイアン・は酸味の強いコーヒー。
- ⑨ 田中角栄を連想します。
- ⑩ 「花いっぱい」という意味のアメリカの州です。
- ⑪ ブランデー、リキュール、レモン・ジューズ各3分の1のカクテルです。
- ⑫ 日かげに生えて、暑に白い花が咲く。強い臭気がある、地下茎、葉を薬用にす。

### タテのカギ

- ① 「悪い白魔術」「カモめ」などを歌ったシャンソン歌手。
- ② 金、銀、銅、すずなどを薄くひらたくのばしたものを薄く。
- ③ 若い人の良生活、たびたびお世話になつてます。
- ④ 江戸時代初期の朱子学者、のちに出家した林。
- ⑤ シカゴで「夜の帝王」として恐れられた男。
- ⑥ 「」の衆、なら手拍子だたいてうたう歌。
- ⑦ ス페인南部の都市。スバリの通名の歌ならフランシシナトラフ、コーナー、フランシスなどが歌っている。
- ⑧ 日本でもその北石が見えられているあの先祖です。
- ⑨ 「来た、見た、勝った」「ブルータス、お前もカ」などの文句の主。
- ⑩ 大船客船でなにかと話題をまいた顔面「壁の」
- ⑪ ウツノキゴケ、サルイガヒ、リトマスゴケなどの一類。

(応募方法) パズルNo. 2 の答えと会社名、氏名を明記し、組合事務局編集部へご回報下さい。(ファックス可)

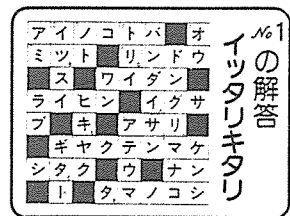
(賞品) 正解者5名の方に賞品を差し上げます。正解者多数の場合は、抽選により決めさせていただきます。

(締切日) 昭和63年5月末日

(発表) 本紙63年7月号

3月号(パズルNo. 1) 正解・当選者発表 (応募総数12通)

- 水野徳子 (浅野木材 榑)
- 北島和美 (山王木材 榑)
- 後藤伸一 (榑丸 吉)
- 西尾嘉一 (榑鯉 丸)
- 田中繁男 (榑田中木材店) (敬称略)



### 【編集後記】

ゲストハウス“やすら木”がオープンして、はや1年が経過し組合員の皆様のやすらぎの場として親しまれております。

“あたらしき大地”も、5月号(No. 25)より新企画を盛り込んでいますが、これをさらに充実するため組合員の皆様の声を取り入れていきたいと思ひます。

推薦される本(新刊書紹介)、是非紹介してほしい店(周辺の『味』散歩) etc ご意見・ご要望等ありましたら、どしどしお寄せ下さい。クロスワードパズルへのご応募もお待ちいたしております。(“あたらしき大地”編集部)